

取材先	下関空襲・終戦展実行委員会		
企画名	第21回 下関空襲・終戦展 ～戦後80年の記憶と記録～		
備考			
取材日	2025年6月30日(火) 天候[晴れ] [10:00～ : 10:30]	取材地	しものせき市民活動センター

レポート	『忘れてはいけないことがある、どうしても伝えたいことがある』この思いを理念に掲げる下関空襲・終戦展実行委員会はかつての戦争とそれを生き抜いた市民の歴史を語り継ぎ、平和の尊さを次世代に伝えることを目的とする。 2004年から続くこの展示は資料展示や証言、映像などを通じて、戦争の実態や当時の市民の暮らしを今に伝え、訪れる人たちの間に平和への関心とつながりを生み出してきた。 戦後80年を迎える今年の展示は、6月28日（土）から7月6日（日）まで開催され、親子連れなど多くの来場者があった。6月29日（日）には「下関空襲と関門海峡への機雷投下」の企画展特別講演が講師に戦史研究家の工藤洋三氏を迎え開催された。期間中は、DVD上映「語り継ぐ 戦時下の下関」の視聴会や親子展示解説会などが行われた。 この展示では実際に空襲を体験した方の証言や当時の写真などを通して、当たり前の日常が失われるという現実を身をもって感じさせられた。 同じ下関に暮らしていながら、空襲のことや終戦当時の市民の方々の姿を、ここまで深く知る機会がなかったので時代を生きた人の苦しみ、そして今を生きる私たちが受け取るべき思いを、もっと多くの人に知ってもらいたいと思った。
------	--

状況写真	     
------	---